

公立陶生病院

病院長名	味岡 正純
所在地	〒489-8642 愛知県瀬戸市西追分町 160 番地
交通案内	名鉄瀬戸線瀬戸市役所前駅下車、西へ徒歩約 3 分（東棟南玄関）/新瀬戸駅下車、東へ徒歩約 5 分（東棟西玄関）/ 愛知環状鉄道瀬戸市駅下車、東へ徒歩約 5 分（東棟西玄関）

□ 病院の特徴

(1) 当院は、1936 年10 月、地域住民の大きな期待を担って創立され、幾多の母体変遷を経て、1959 年 6 月に瀬戸市、旭町、長久手町による一部事務組合立の病院となり、尾張東部地域の基幹病院としての役割を果たしている

(2) 名古屋東部に位置し、30 科を標榜、良質な地域完結型医療を実現する地域連携。地域基幹病院、救命センターとして24 時間断らない救急をモットーに日々邁進し、高度で確実な救急医療の提供を目指す救急医療。「がん診療連携拠点病院」に指定され、質の高いがん医療の提供を目指し、地域に根差した公立病院ならではの親身なケアを心掛けたサポートのがん診療。感染症診療・感染制御に関連した専門資格を有するスタッフが院内だけでなく地域医療機関や行政と協働し感染制御活動を行い、平時から医療関連感染対策を実践し新興感染症にも対応する感染対策以上四つの強みを中心にさまざまな分野の専門家が協働して医療のサポートを実践している。

□ 研修プログラムの特徴

【研修プログラム名】

公立陶生病院内科

【研修目標】

内科領域の専門的診療能力の習得とサブスペシャリティへのスムーズなステップアップ

【研修期間】3 年

【研修スケジュール】

1 年目：「消化器」、「循環器」、「内分泌」、「代謝」、「腎臓」、「呼吸器・アレルギー」、「血液」、「神経」、および、「救急・感染症」をローテーションし、内科専門医に必要とされる幅広い疾患を、専門医の指導の下で経験することが可能です。

2 年目・3 年目：

1 年間の連携施設・特別連携施設（1 か所 3 か月以上）での研修と、1 年間の希望選択科での研修です。

希望選択科は、subspecialty 科での研修を基本としますが、subspecialty 科が決まらない場合などは個別に対応します。

2 年間の終了時に、病歴提出に必要な症例経験が行えるように調整します。



□ 主な連携施設

名古屋大学医学部附属病院/名古屋市立大学病院/愛知医科大学病院/藤田医科大学病院/岐阜県立多治見病院/中津川市民病院/可児とうのう病院/土岐市立総合病院/小牧市民病院/名古屋大学医学部附属東部医療センター/旭労災病院/あさい病院/青山病院/名古屋医療センター/東濃厚生病院/愛知がんセンター/豊田厚生病院

□ メッセージ

指導医：近藤先生

公立陶生病院は、最重症の内科救急を最先端医療で対応しドクターヘリ患者搬送の受け入れも行う病院であるとともに、慢性・難治性疾患にも対応し、がん診療拠点病院でもあります。

当院のプログラムでは、2 年間で内科専門医としての経験目標を達成し、

3 年目には subspecialty に移行する研修プランを基本とし、common disease から専門性の高い疾患の経験、subspecialty 研修まで個人のニーズに合った幅広い研修を受けられます。屋根瓦方式とアカデミックサポートも充実しています。その他、多くの病院と連携関係にあり、多様性のあるキャリアパスにも対応可能です。



□ 募集要項

・採用予定人数	15 人
・給与/月額	基本給：334,100 円/月 年額：約 9,735,000 円 ※年額は専攻医 1 年目の諸手当を含んだ目安です。 実際の支給とは異なる場合があります。
・当直回数/月	3~4 回
・当直料/回	35,000 円
・その他	
・応募連絡先	担当者 研修管理室 電話番号 0561-82-5101 Eメール kenshu@tosei.or.jp